

平成29年度指導教諭の紹介

教科 (科目) 地歴・公民 (世界史)	1 授業の特徴 ① 「なぜ～なのか」という発問を中心とした授業展開（生徒に考えさせ、答えさせる授業）を心がけています。 ② 「具体」から「抽象」へ（難しい言葉は、易しい言葉に置き換えて、具体的な例を挙げて説明）を心がけています。 ③ 授業中は、既習事項についてのフィードバックを取り入れることを心がけています。（既習事項についての質問を頻繁に行い、その授業で学習している事象とつながるように意識しています。） ④ なるべく「板書をしない」、顔を上げさせて「考えさせる」よう心がけています。（生徒は板書を写したことで「わかった」気になるため） ⑤ なるべく「課題」は出さないようにしています。（必要最小限、効果的な課題を、力のつくやり方で取り組むよう生徒に指示しています。）
名前 (ふりがな) 古宮 太造 (こみや たいぞう)	2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項 ① 「学力向上」に向けた授業展開・教材の実際について （「いかにして生徒に授業内容を理解・定着させるか」、「どのような教材・小テスト・定期考査の問題を用いるか」など） ② 授業を展開するうえで、必要な力量について （「歴史学」、「教科教育学」、「授業技術」、「授業改善の意識」など）
勤務校 (問い合わせ先) 大分県立 高田高等学校 住所：〒879-0606 大分県豊後高田市玉津 1834-1 TEL：0978-22-3145 FAX：0978-24-0956	3 研修講演等が可能なテーマ 上記2について非常に拙いですが、少しはお話しできると思います。
授業公開の日程 2年：世界史B 国公立大学進学コース・総合進学コース 月曜 6限 水曜 6限 金曜 2限	4 活動実績 特にありません。
	5 自己紹介、プロフィールなど 指導教諭として7年目を迎えました。この4月より高田高等学校に勤務するようになりました。「どうすれば、生徒を引きつける授業ができるのか」、「どうすれば、生徒にとって分かりやすい授業ができるのか」について、日々、苦闘しているところです。本校は「生徒の深い思考を促す具体的な手法について」を授業改善テーマに掲げ、生徒の「深い思考」を促すことのできる発問を取り入れた授業の実践に各教科・個々人で取り組んでいるところです。指導教諭である私も、校内の授業改善の推進役として「教科会議の充実、互見授業・校内授業研究会の実施」などに取り組んでいかねばなりません。つきましては、授業改善の取組について、他校の先生方ともお話できる機会が持てればと思っております。
	6 学校紹介 創立106周年を迎えた本校は、幾多の俊秀を輩出してきました。約2万8千人の同窓生は日本全国、世界各地において、さまざまな分野で活躍しています。「気力・気節・気尚」の“三気の校訓”のもと、志高く、高潔な人格と見識を備え、心豊かで自主的精神にあふれた、心身ともに逞しい人間を育成することを学教教育目標に掲げて生徒・教職員が一丸となって日々努力しています。
	7 学校や関係HPのリンクなどアドレス http://kou.oita-ed.jp/takada/